

【 大学院保健医療学研究科カリキュラムポリシー 】

1. 生命科学の基盤の上に、保健医療分野に関する深い洞察力と高度な専門知識に加え、問題発掘・解決能力を備えた研究者ならびに高度な知識と技術を有する専門職業人養成のための教育を行う。
2. 保健医療学研究科の教育は、講義、演習および学位論文作成に対する指導により行う。
3. 関心ある科目を幅広く学習するとともに保健医療分野の学際的視点を養えるように「保健医療学特論」と「チーム医療特論」を開講する。
4. 自立して研究を行うために必要な研究や解析手法を学ぶために昭和大学大学院全研究科に共通した科目を開講する。
5. 研究成果を国内外の学会・研究会に参加し発信する能力を育成するとともに幅広い視野を養うための教育を行う。

【 大学院保健医療学研究科ディプロマポリシー 】

「至誠一貫」の精神のもと、看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士等の資格の違いを超え、保健医療全体についての高度な知識を備え、高い専門性に基づく臨床実践と臨床研究でリーダーシップを発揮し、チーム医療を推進できる人材育成のために、修了までの達成目標を以下に列挙する。

1. 保健医療分野において深い学識と専門性、高度な臨床実践能力や研究能力を有する。
2. 保健医療に関連したそれぞれの専門職と学術的連携・協調をもち、保健医療分野でリーダーシップを発揮する能力を有する。
3. 円滑なコミュニケーションのもと、地域の保健、医療、福祉に寄与する能力を有する。
4. 保健医療分野における諸問題を科学的に検証し、解決・研究する能力を有する。
5. 生涯にわたり研鑽し、チーム医療を実践できる能力を有する。
6. 専門職業人養成として高度な知識、強い責任感、豊かな人間性を持ち、保健医療分野で活躍できる能力を有する。